

文京SOGIにじいろ映画会

事前申込
不要
(託児は要予約)

入場
無料

Little Girl

リトル・ガール

“女の子”と認めてもらえない7歳のサシャと、
子どもの自由と幸せを守りたいと願う母。
一つの家族の<ゆずれない闘い>を映した
心震えるドキュメンタリー。

©AGAT FILMS & CIE - ARTE France - Final Cut for Real - 2020

令和5年 **12月1日(金)**

文京シビックホール・小ホール (文京区春日1-16-21)

- 昼の部** 午後1時30分から4時30分まで (整理券配布 午後0時45分から)
昼の部のみ、上映後にLGBTQ等当事者を交えたトークライブを開催
【ゲスト】屋成 和昭氏 (株式会社アウト・ジャパン代表取締役) ほか
- ☎手話通訳あり(申込不要)
 - ☎託児サービスあり(先着順。希望者は11月17日(金)までに、下記へお電話ください。)



▲屋成 和昭氏

夜の部 午後7時から8時30分まで (整理券配布 午後6時15分から)

- 各部上映45分前から、先着順で1人1枚整理券を配布(各部定員280人)
- 各部上映20分前から、整理券順に入場(自由席)



[区 HP]

Little Girl

リトル・ガール



“女の子”と認めてもらえない7歳のサシャと、子どもの自由と幸せを守りたいと願う母。一つの家族のくずれない闘い>を映した心震えるドキュメンタリー。フランス北部、エーヌ県に住む少女・サシャ。出生時、彼女に割り当てられた性別は“男性”だったが、2歳を過ぎた頃から自分は女の子であると訴えてきた。しかし、学校へスカートを着て通うことは認められず、バレエ教室では男の子の衣装を着せられる。男子からは「女っぽい」と言われ、女子からは「男のくせに」と疎外され、社会はサシャを他の子どもと同じように扱わない……。

©AGAT FILMS & CIE - ARTE France - Final Cut for Real - 2020

2020年/フランス/85分
日本語字幕付き
原題: Petite fille
配給: サンリスフィルム
監督: セバスチャン・リフシツ

トークライブゲスト

屋成 和昭 氏【株式会社アウト・ジャパン代表取締役】

1974年京都府生まれ。関西大学卒業。約20年にわたり、新卒採用コンサルティングを行うベンチャー企業にて数多くの企業の採用活動に携わる。2016年にLGBT採用支援を行う新会社の立ち上げに関わることで、企業にとってLGBTに配慮しないことがいかに損失を生んでいるかを実感。「より多くの企業様にLGBTダイバーシティを広めたい」と、株式会社アウト・ジャパンへ2017年入社。現在は大手企業から中小・ベンチャー企業まで幅広くLGBTダイバーシティのコンサルティングに携わる。

ほかゲスト登壇予定



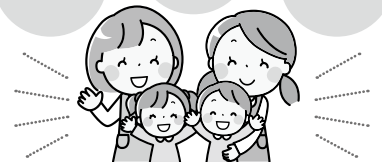
託児受付(昼の部のみ)

- 対象 1歳～未就学児
- 時間 午後1時30分から4時30分まで(託児受付開始 午後1時15分から)
- 申込方法 11月17日(金)までに、文京区総務課ダイバーシティ推進担当
(☎ 03-5803-1187)にお電話ください。

要予約

定員
あり

先着順



SOGIとは?

Sexual Orientation 「性的指向」とGender Identity 「性自認」の頭文字をとった言葉です。「性的指向」とは、恋愛感情や性的な関心が主にどの性別に向いているか/いないかのことです。好きになる対象は異性だけとは限らず、性的な関心や恋愛感情自体を抱かない人もいます。

「性自認」とは、自分がどの性別である/ないと思っているかということです。この感覚は、出生登録時の性と同じとは限りません。

関連事業
文京SOGIにじいろサロン

SOGIについてのミニ講義の後、参加者同士で楽しくおしゃべりできます。お気軽にお越しください。
終了後、講師とのSOGIに関する個別相談が可能です。

奇数月の第4日曜日
午後2時から4時開催!
詳細はこちら→

